

しぶとくあがいて生きるのも悪くない

67歳の元歌手が、12歳の家出娘と、再びどさまわりの旅をする。行く先々でトラブルに遭い、もう歌えないのかと諦めかけては「運命に逆らうのよ」と奮起する姿がたくましい。過去から今そして未来へと繋がる縁の不思議と絆の深さに、人生の楽しさを感じる。いくつになっても、じたばたしてみればいいと勇気をもらえる一冊。

書名：『ふたりみち』

著者：山本幸久

おすすめする人：金森由利香

自分の色、周りの色、見えていますか？

どうしてあの子は何でもできるのだろう。どうしてあの子はいつも楽しそうなのだろう。自分と人を比べてがっかりして、周りのことが嫌になったり、自分のことを嫌いになったりした経験はありませんか？自分と向き合い相手と向き合い、この世界で生きるのも悪くない、明日からも頑張ろう、そう思わせてくれる1冊です。

書名：『カラフル』

著者：森絵都

おすすめする人：萩原ちひろ

ゼ口
原材料から自分で作ると300倍のお値段！

表紙の謎の物体が、作ってみた「結果」である。お店で買えば遥かに良い物が500円以下で手に入る時代だ。出来栄だけを見れば無残だが、このトースターは筆者の果敢な挑戦と冒険の結晶だ。本書を読めば愛おしさすら感じる偉大な作品である。ハチャメチャだが人類の工業技術の積み重ねの壮大さを感じられる1冊だ。

書名：『ゼロからトースターを作ってみた結果』

著者：トーマス・トウェイツ

おすすめする人：小瀬木里枝

あなたは息子が犯人でも生きていてと望むか

未成年がらみの犯罪。自分の息子もいつ事件に巻き込まれてもおかしくない。未成年であってもネットで情報が拡散し、名前が知られる時代である。兄妹がいればその子も守らなければならない。息子が犯人でないと信じられるか。私は犯人であっても生きていてほしいと心底思えるのだろうか？考えさせられる一冊である。

書名：『望み』

著者：雫井脩介

おすすめする人：白木恵美

素敵な秘密は、日常を特別にする

「バイオリンのケース、トランペットのケース、トランク代わりにして出発」した姉弟の家出。向かった先は、ニューヨークのメトロポリタン美術館。天使の像の謎を解く冒険にワクワクします。有名な歌のモチーフになった物語に、こんな素敵な秘密があったなんて！是非、この本を手にとって子ども達と秘密を共有しちゃいましょう。

書名：『クローディアの秘密』

著者：E.L.カニングズバーグ

おすすめする人：吉井綾子

読んで気づく。自分の無知さ、知る大切さ。

読後、世の中の見方が変わるのではないだろうか。英国に住む親子の暮らしを通して、ここで起きていることは決して他人事ではなく、世界の縮図だと気づく。人種差別、いじめ、LGBTQ、貧困、といった課題に関心を寄せて、知ろうと努力する大切さを伝えてくれる一冊である。

書名：『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

著者：ブレイディみかこ

おすすめする人：平工綾子

これほどに美しい小説を、私は知らない。

詩に感銘した時、恋に落ちた時、人生を振り返る時。あなたなら何と表すだろうか。私はこの小説以上に完璧で美しい表現を知らない。この物語は、農家育ちの男が教師となり、老いて生を全うするだけの話だ。しかし読む度に、生きることの美しさと悲しさに心が揺さぶられる。小説を愛するあなたへ、この物語が届いてほしい。

書名：『ストーナー』

著者：ジョン・ウィリアムズ

おすすめする人：谷口央晃

この絵本で育ったから、この絵本で育てたい

「だるまちゃん」とてんぐちゃん」が大好きで「からすのパン屋さん」に行きたくて、「かわ」で自然の偉大さを知った。この作者は絶対に温かい人だと思った。きっとこの本を読めば、ますます彼の絵本が好きになるだろう。親となった今、私は彼が残してくれた絵本を子に読みかせ、「だるまちゃん」を育てていくのだ。

書名：『未来のだるまちゃんへ』

著者：かこさとし

おすすめする人：長尾郁美